

(社)神奈川県計量協会が総会を開催 新会長に加島淳一郎氏を選出

理事、岸、栢之間、三橋

(社)神奈川県計量協会の第17回通常総会(平成15年6月20日(金)・ホテルリッチ横浜)が開催され、次の全議案が原案通り全可決承認された。

第1号議案「平成14年度事務事業報告(案)」
第2号議案「平成14年度収支決算(案)並びに監査報告」
第3号議案「役員の変更もあり計量関係団体統合後の新執行部体制が誕生した。なお、当日は、総会終了後、計量関係団体統合記念祝賀会も開かれ、県議会の合間をみて出席した多忙の下河内県商工労働部長から記念の祝いの言葉を受けるなど、例年になく約130名の参加者を得て成功裏のうちに終

特集 神奈川 314号

を得て成功裏のうちに終



(社)神奈川県計量協会総会の様子

役員補欠選任等の案件を原案通り可決承認した。また、永年功労会員として(株)富士繁(株)高部金属、(有)賀領、川崎資源再生工業協同組

高取、平尾の各常務理事が選任された。第4号議案「各部会の平成14年度会計監査報告及び部会要綱(案)」

石油ガスメーター立入検査を実施
神奈川県計量検定所は、石油ガスメーター及び同事業者所有の燃料油メーターの立入検査を実施した。

環境計量証明事業者の立入検査を実施
神奈川県計量検定所は、5月12日から同23日までの9日間、環境計量証明事業者の登録後の実態を把握し、適正な計量証明事業業務の実施を確保するため、立入検査を実施した。その概要は次のとおり。

計量器別	親メーター	子メーター	計
電力量計	7	100(23)	107(23)
水道メーター	6	15(5)	21(5)
ガスメーター	20	6(2)	26(2)
温水メーター		2	2
計	33	123(30)	156(30)

()は、不適正器物内数

商品量目立入検査を実施
横須賀市では、6月16日から7月4日の間、市内のスーパー等に商品量目立入検査を実施した。

大和市が正量取引強調月間
大和市は、商品の取引が増加する中元期に適正な正量取引の推進を図るため、次のような事業を実施した。

検査結果
①期間「6月23日～27日(4日間)」
②検査戸数「146、不足数0」
③計量器「検査件数118、不足数0」
④数量「検査件数118、不足数0」
⑤検査件数393、不足数0

会長就任に当たって

(社)神奈川県計量協会会長 加島淳一郎



量器製作修繕者が統合して神奈川県計量協会が発足して半世紀が経っております。

譲を受けた中央三団体の統合を契機に、神奈川も統合すべきであるとの機運が高まり、関係者の三年有余にわたる粘り強い検討協議と関係当局のご指導及び会員の深い英知と理解によって、賛助会

はメートル法普及にこ熱心であった内山岩太郎知事に初代会長をお願いして以来、歴代の神奈川県知事に就任して頂いて参りましたが、今回の新協会の発足を機に民間人が会長を務めることとなり、私が6月20日の総会において満場一致のご推挙で会長に就任させて頂きました。改めて初代民間人会長としての重責をひしひしと感じてい

るところであります。幸い地方分権も着々と進み、現在神奈川県の特定市は9市を数えるに至りました。自主的計量管理も計量士さんのご尽力で軌道に乗りつつあります。私が計量の世界に足を踏み入れてから40年、尺貫法での生活、又アメリカ駐在員としてヤード・ポンド法による実生活での貴重な体験もさせて頂きました。計量

単位量値統一の重要性は身をもって認識し、いわば私の血肉となつて脈々と息づいています。更に小学校、中学校、高校と神奈川の公立学校でお世話になり今日の自分があると感じたいとおります。

こうした経緯を鑑みて県への恩返しの意味から、会長として微力ではありますが、一般県民に申し上げていただき、

啓発を一層図るとともに公益法人としての事業の確立、情報の中核機能の強化を中心に21世紀に相応しい協会として発展させ、諸先輩が築かれた計量の神奈川の名声を益々高めるべく、会員皆様と力を合わせ、関係当局とも緊密な連携を図りながら前進して参りたいと考えます。宜しくお願

い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

メートル法使用を義務付けた計量法施行を機に日本度量衡協会神奈川県支部 神奈川県度量衡研究会、神奈川県度量衡計

団体の活動振りは皆様もよくご存知のことと存じますが、計量の国際化、規制緩和に伴う地方分

認されました。併せて、従来本会会長

を主催し、平成14年度事業報告及び収支決算、平成15年度事業計画(案)及び収支予算(案)、役員改選等の案件を原案通り可決承認した。なお、三橋克己会長、柳澤初男、小澤武治の副会長、新理事として都筑千秋、小林勇、新監事に石井正国の方氏を選任。他の理事は

神奈川環境計量協会の第28回通常総会を、5月14日(水)鶴見会館で開催した。

平成14年度事業報告、平成14年度収支報告及び監査報告、平成15年度事業計画(案)、同収支予算(案)等の案件を原案通り可決承認した。なお、総会終了後、技術講演会も併せ開催。

神奈川環境計量士会が総会開催
神奈川環境計量士会は5月28日横浜市老松会館(エルパイン)で、総会

神奈川環境計量協会のようす
役員補欠選任等の案件を原案通り可決承認した。また、永年功労会員として(株)富士繁(株)高部金属、(有)賀領、川崎資源再生工業協同組

内訳 食肉類「検査件数146、不足数0」
魚介類「検査件数118、不足数0」
青果類「検査件数75、不足数0」
その他「検査件数54、不足数0」

横浜開港祭に計量の広場を開設 2500人が来場 骨強度測定が好評

第22回横浜開港祭に、(社)神奈川県計量協会主催の、第8回目の「計量の広場」を開設致しました。又会員企業、横浜市計量検査所、神奈川県計量検査所のご協力により開催いたしました。

内容は「骨強度測定」「体脂肪測定」重さ当てクイズ」計量に関する啓蒙パネルの掲示」折り紙教室」を行いました。

今年5月30日から6月2日まで3日間でしたが、初日の30日は台風の影響で大雨になり、残念ながら開催に熱心なみなさんが集まらなかつた。雨が降りましたが、午前中粘りましたが、止まず地表は一面池のようになり、中止の決断をしました。



1、2日はすばらしい天気、来場者も2日間、2500人と毎年相変わらずの人気を得ました。

人事異動

(6月1日付)

神奈川県計量検査所 副所長兼管理課長松田正吾(障害者就労相談センター) 検定第一課長堀内敏男(検定第二課長) 検定第二課長西川茂(指導課技幹) 指導課技幹石渡修(指導課課長補佐) 副主任大久保博司(横須賀職業技術校) 指導課副技幹山田信博

横浜市が量目立入検査を実施

横浜市では、スーパー・ストア等への立入検査を次の日程により実施。5月8月

リレイエター 今年の夏も子供たちの歓声と冷たいビールだ

横須賀市経済部副部長 大坂茂夫

梅雨が明け、また今年母が笑ったり、子供たちも、私の住んでいる山間を叱っている声が聞こえ、小さな公園に、子供たちの歓声が響き渡る日が出てくる。私の中では、20数年前から、青年会や母親クラブが中心となって子供たちから高齢者の波が押し寄せ、町中が静かになり、高年齢者まで一緒に楽しめる、ふれあい納涼大会を開催している。

昔は、公園には、子供たちが遊び、高齢者がわかってきた。20年前に納涼大会を楽しくていた。町の歓声や、両親、祖父、祖母の子供を連れて参加した。定期検査を8月から(社)神奈川県計量協会所属の計量士による巡回方式により実施する。なお、公共施設については、平塚市は、はかりの

めたのだ。納涼大会を仕切っている彼らの両親は、孫のためにと大張り切りである。一週間前から公園の草刈りをしたり、当日は朝から屋台を組んで、焼きそばのセットをつくり、かき氷、輪投げ、金魚すくいなどの準備に余念がない。大人になった彼らは、子供たちだけでなく夫や妻を連れ、一緒にスイカ割りを楽しみ、花火大会に歓声を上げていく。幼なじみや同級生ともここで再会をしている。子供同志を遊ばせている姿を見ると昔の風景が蘇ってくる。暑くて、辛くて、事故でも起きたら大変だから止めてしまおうと何度も思ったが、皆が帰って行く後姿と、また来年このうね」と家族に話し掛けてみる言葉が聞くと、止めてはいけないのだと実感する。こんな小さな町では、「また来ようね」と言う子供たちが、何年後にも自分の子供にも同じように言われる事が大切なのだと思う。今年も打ち合わせが始まった。子供たちの歓声と花火の匂いが懐かしさを感じられる夏の思い出を、いつまでも残していきたい。

平塚市が定期検査を実施

定期検査を8月から(社)神奈川県計量協会所属の計量士による巡回方式により実施する。なお、公共施設については、

- 1〜5丁目 東豊田の1
- 部 札幌町 紅谷町 松
- 風町 見附町 宮の前
- 宮松町 桃浜町 八重咲
- 町 八千代町 夕陽ヶ丘
- 龍城が丘

茅ヶ崎市が量目立入検査を実施

茅ヶ崎市は、中元期における量目立入検査を7月下旬から8月の期間に実施する。

わが街「我がまちを訪ねて」

厚木市

厚木市は神奈川県川の河川が放射状に流す。ほぼ中央に位置し、市れ、そして、これら川の東には、相模川が南川の流域に平野部が開北に流れ、これに5本



か、見所が、見所大会を相模川で行った。や温泉大会が始まり、第二次。また、自然も豊。この中から、商店街が中心。まつり」と、名の「あつき結ま

お知らせ

この特集は神奈川県計量協会の会報に代わるものとして、日本計量新報社のご協力を得て隔月発行し、全会員に配布しています。

(社)神奈川県計量協会
045-401-4420

NMIJ セミナー「新規NMIJ標準物質と高精度分析法」を開催

9月12日、2003分析展で

【産業技術総合研究所 計量標準総合センター (NMIJ)は、2003分析展」の中で9月12日(金)にNMIJセミナー「新規NMIJ標準物質と高精度分析法」を開催する。

平成14年度に開発を終了して現在供給中の新規標準物質(環境組成、標準ガス、鉄基金)について紹介する。また、最近特に重要となっている臨床検査・バイオ標準の最新動向について報告する。NMIJでは標準物質の認証値決定に不可欠な高精度分析法の開発を併行して行っており、第2部として、無機元素分析及び化学形態分析(ス

【日時】2003年9月12日(金)、13時~17時

【場所】幕張メッセコンベンションセンター「プログラム」

13時~13時10分「来賓挨拶」(経済産業省知事的基

経済産業省産業技術環境局知的基盤課

計量行政室長 醍醐辰也氏



昭和27年11月30日生
出身地：千葉県 最終学
課総括係長 63年4月

歴：昭和50年3月、日本
大学法学部法律学科卒業
昭和51年3月「通商産
業省入省(資源工ネ
ル 千一庁海洋開発室) 56
年4月「工業技術院標準
課総括係長 63年4月」

地域振興整備公団総務課
長代理 平成2年5月
通商産業省資源工ネ
ル 千一庁流通課総括係長
6年4月「同庁総務課長
補佐 8年6月」産業政
策局商政課長補佐 10年
6月「同局流通産業課長
補佐 13年6月」大臣官
房秘書課長補佐

【第一部 NMIJ標準物質の開発と供給の現状】

13時10分~13時15分「NMIJ標準物質開発の概要」岡本研作(総括研究員)

13時15分~13時45分「環境分析用の組成標準物質について」高津章子(無機分析科環境標準研究室)

13時45分~14時15分「VOC等の標準ガスについて」加藤健次(有機分析科有機標準研究室)

14時15分~14時45分「EPM A用鉄基金標準物質について」梅原博行(先端材料材料評価研究室)

14時45分~15時15分「臨床検査・バイオ標準をめぐる最近の国際的情勢」千葉光一(副研究部門長)

15時15分~16時15分「同位体希釈ICP質量分析法による高感度無機元素分

特集 神奈川つぎ 計量教室を開催

神奈川県計量検定所 南足柄市で計量教室を開催し、計量思想の普及を図った。

開催日：7月3日(木)

開催場所：南足柄市女性センター 参加人数：5

内容：①計量検定所の業務案内②商品試買検査の実演③家庭用計量器の検査④質疑応答

平成15年度計量管理講演会開催

川崎市計量協会計量管理専門部会は、6月30日(月)午後2時から、川崎市素(株)ライフサイエンス研究所で世界的権威の味の素(株)を講師に、アミノ酸の研究と共催で平成15年度の計量管理講演会を、川崎市産業振興会館で開催した。



計量証明事業「質量」

員・鳥居邦夫氏

「環境(音圧・振動)」

点をさぐる「ア」

「環境の世界」と

計量士「一般」

山尊仁(雪印乳業(株))

「環境(濃度)」

輔(株)ヤクルト本社、西

敏史(株)コンカレント)

講師は、アミノ酸の研究で世界的権威の味の素(株)を講師に、アミノ酸の研究と共催で平成15年度の計量管理講演会を、川崎市産業振興会館で開催した。

【登録と指定】

十七巻 典葉寮の条に

駿河国一(斛石) 美

濃国大八升

信濃国三斗 上野国

八斗

下野国四斗 陸奥国

援までして 百廿斤

越中国三斗 伊予国

今までなら 二斗

と記されている中、陸奥の国のみが質量表示となっているのは根柢が大きいので升でなく重さに変えたなどは面白く、独り吹き出して

とりかぶと XI

足もとが危ないので下ばかり見て歩いていたら、そこに立派なナトリカブトの若株を見つけたので、皆の者に知らせたが、花は秋だし毒草ゆえか誰も寄りつかず、見てみぬふりを

仲間の人 達もこの気持を察して去って行ってしまったのである。この草には何の罪もないのに、私に帰り道に淋しい思いをさせてしまったと、ひとり謝ってその場を去った。

い桜の幹を叩きながらのらるるか、どうも

山野草に魅せられて

押尾 寅松(計量士)

た。湖底に沈む村宮々瀨ダム周辺には山桜が今を盛りと咲いていて、きつとあの桜も水が浸してしまつたので、なぜかこの日の山歩うまく逃げ出せよと応援までして 百廿斤

と記されている中、陸奥の国のみが質量表示となっているのは根柢が大きいので升でなく重さに変えたなどは面白く、独り吹き出して

それからのメートル法

ヤドポンド圏からの離陸支援を

多賀谷 宏

地政学的な視点

我々日本人にとっては世界史や国際環境を、長い間つちかっていた先入観から一旦離れた冷徹な目で見つめ直すということだが、好むと好まざるにかかわらず日本の

置かれている国際環境が激変しつつある近年であればこそ、地政学であれ

ある。メートル条約の揺籃期に抱え込まれた諸問題、そしてそれが今日に残した課題を正確に見つめる手段として、さら

かろうかと私は考えた。ところていま「ヤドポンド圏へのメートル法の導入」といいかにもあつさりとして書いてしまった

が、後述するようにアメリカ、イギリスのような先進国でのメートル法への切換が、21世紀に入つてしまった現代社会では

の切換が、21世紀に入つてしまった現代社会では

の切換が、21世紀に入つてしまった現代社会では

析とスペシエーション」一稲垣和三(無機分析科環境標準研究室) 16時

16時30分「底質中のPCMBの精密分離・定量法」

16時30分「断熱型熱量計による高純度有機標準物質の純度決定」清水由隆(有機分析科有機標準研究室)

【申込締切】9月11日(木)

【申込方法】(産業技術総合研究所計量標準総合センターのホームページ)

http://www.nmi-j.jp/150912seminar.htm から申込プ